



心沈みがちな薄暗い雨の日も、木のドアを押し開け、この学園の温かな色の空間に包まれると、ほっと気持ちが和みます。人の手で丁寧に重ねられた柔らかな色の壁。そういえば、紫陽花の色にも、雨雲の色にさえも、自然の織り成す色彩には一面平坦な色というのは存在しないのだと気づきます。この空間の心地よさは自然なのかもしれません。大雨のオープンデーにこの校舎を訪れた方々も、きっと同じ心地よさを感じていただけのではないのでしょうか。

学園祭を終えて



七、八、九年生の生徒たちは学園祭準備にしっかり取り組み、楽しく熱心に働いて本番を無事終えました。カフェ、縁日、ダンボール迷路の三つのチームに様々なご支援とご協力をいただきました保護者の皆様、横浜シュタイナーどんぐりのおうち、霧が丘の自転車店の皆様、どうも有難うございました。もしかすると大雨警報が出るかという二日目も、お陰様で天候が持ちこたえてくれて大勢の来場者がありました（二日間で約 230 人）。大変感謝申し上げます。

三月ごろから九年生たちの会話には学園祭への鼓動がはっきり生まれていました。ダンボール迷路の副リーダーはある日インスピレーションを受け、面白いアイデアが次々と湧いてきました。劇チームは「小さい子も楽しめる劇を」と物語をいくつも持ち寄り、メンバーに読み聞かせまでして検討しました。その力強い意志は後にダンボール迷路の様々な新しいアトラクションとなり（小さい子には少し難しかったですね）、カフェの豊富なメニューとなり、「縁日」の心のこもった数々の手作り品（景品）となりました。そして今年らしさを感じる発表（合唱・合奏・個人発表・劇）、立派な展示となりました。それでも7人の九年生のリーダーシップと七、八年生が心を合わせたチームワークがこれだけのことをなしたとげたことを褒め讃えたいと思います。

準備中の十日市場校舎を訪れた教員が「子どもたちの穏やかな空気の中で物事が着々と進んでいるのがいいね。」と感想を言いました。担任も信頼を伝え、先回りをせず、ちょっと離れて見守ること、「失敗こそ善き糧に」ということを心がけていました。



生徒たちが良い空気を作れたのは、彼等のあいだの相性の良さもありましたが、それ以外の理由もあったと思います。実行委員長の九年生が一日目の振り返りで言いました。「(わたしたち) 九年生が仕事をやりすぎていない? シフトを組み直してください。下の子たちも動きたいのは同じ。退屈しすぎないようにしてあげて。わたしたちは来年はもういないのだから、下の子たちにも仕事を任せることをしないとイケない。」同席した教員たちは感銘を受け、何度も大きく頷きました。（後で本人に感動を伝えると、「なぜ褒められるのでしょうか。自分が下級生のときにしてほしかったことを言っただけです。」という返事でした。）次はダンボール迷路のリーダーが反省会で言った言葉です。「今回作ったもので使えるものは使ってください。でもその年にやる人たちがまた新しいことを考えて作っていくのが面白いと思うので、みんなもそうしてほしいです。」そして劇チームは小さい子たちも楽しめるものという目標をもって劇を選び、更に台本を大幅に書き換えました。自分も他者も喜べる学園祭にという姿勢が底流にあったと思います。

(9年担任 森田修)

【オープンデー】

6月15日に、十日市場校舎での高学年による学園祭とあわせて、霧が丘校舎では、オープンデーを開催しました。天候が危ぶまれる中での開催となりましたが、そのようなお天気の中でも多くの方が来場してくださいました。季節のお花やみずみずしいグリーンに彩られた霧が丘校舎は、あたたかな空気に包まれました。



6月15日、横浜シュタイナー学園にてオープンデーが開催されました。

私は昨年末に娘が転入し、オープンデーは未経験だったのですが実行委員として参加させていただくことになりました。

今年は例年より短い準備期間での開催になったのですが、実行委員の皆さんは昨年までの経験を踏まえ、より良いオープンデーを目指し着々と準備を進められていました。

二日前には学園内のセッティングがほぼ整いあとは当日を待つばかりとなった開催前日、明日の当日は大雨警報が発令されるかもしれないという思いもよらない事態となりましたが、先生方、実行委員が急遽集まり最善策を模索し、警報発令の際は翌日曜日に振り替えることが決定。その後、振替日のスタッフの人員確認や保育など様々なメールでのやりとりが夜遅くまで続きましたが、実行委員保護者全員の迅速なチームプレイにより振替日での開催にも対応可能となりました。

幸いにして警報が発令されることはなく予定通りの開催となりましたが、今回のハプニングは緊急時の学園内保護者の連携をはかる良い経験になりました。

オープンデー当日の学園は至る所にアレンジされたグリーンや花々が活けられ、各担当ブースも美しくセッティングされてとても華やかでした。

雨の中足を運んでくださるお客さまに最高のおもてなしをという先生の始まる言葉と共にスタートしたオープンデーはあたたかく良いエネルギーに満ちていて、体験授業や個別相談、人形劇、バリエーションの増えたお父さん屋台、500個もの保護者寄付の手作りお菓子、心温まる手作り品、木工や羊

毛ワークショップなど完売が相次ぎどこも大盛況でした。

総勢 200 人近くのお客さまにご来場いただきお帰りの際にはみなさまの笑顔が印象的だったとのことで、きっと今回のオープンデーも学園の良さを十分に感じていただけたのではないのでしょうか。



前日までの慌ただしさを微塵も感じさせず優しい笑顔で各担当のフォローにまわる実行委員のみなさま、それぞれの仕事に喜びを持って取り組むスタッフのみなさまの姿に、私は涙がでそうになりましたし、学内保育を担当してくださったみなさま、お家で子どもたちを見守ってくださった保護者のみなさまのことを思うと、この学園の「教員と保護者が共に学園を作る」という強い思いを実感して胸が熱くなりました。

オープンデー終了後に労い合う先生方やスタッフのみなさんの姿はとても感動的で輝いてみえました。

今回、実行委員として参加させていただき多くの学びと貴重な体験をさせていただけたことに深く感謝いたします。

そして未経験の私をメンバーとして受け入れてくださった実行委員のみなさま、ありがとうございました。

(3年保護者 竹村恵子)



【シュタイナー教育 100 周年記念動画を鑑賞して ～2019 年 6 月 8 日運営会議より～】

シュタイナー教育 100 周年を、日本にある 7 つの全日制シュタイナー学校が加盟する日本シュタイナー学校協会ですら祝おうかと、会議を重ね、様々な企画が上がっていた折、「叶ったらいいな」と思っていた話の実現することになりました。

.....



「あの河瀬直美監督がシュタイナー学校のショートムービーを撮る！」驚きと大きな期待を持って決定の第一報を聞きました。

1997 年「萌の朱雀」でカンヌのカメラドールを受賞された時、「日本の女性監督だって！」と私の周囲で（当時の仕事柄もあって）大きな話題になったことを思い出します。それからの河瀬監督の活躍は周知の通りで、2020 年東京オリンピックの公式記録映画の指揮をとることも決まっていたそんなお忙しい時に、この話を引き受けてくれたことが、信じられない思いでした。

完成した動画は、現在 YouTube で公開されており、学園サイトからも見るができます。この記念すべき動画を学園の保護者みんなで見たいと思い、6 月 8 日の運営会議で上映しました。

「シュタイナー教育を知らない人々にも、この教育ってなんかいいなと思ってもらえるような普遍的な作品を創りたい。子どもたちがこの教育を受けながら、生きていることの喜びを獲得してゆく瞬間を描きたい（オンラインミーティングでの監督の言葉より）」という思いを持って、1 年かけてシュタイナー学校の春夏秋冬を撮影されたその作品の内容は、ここで私の文章で表現するよりもぜひ、実際の動画をご覧ください、そのメッセージを受け取ってほしいと思います。

会議では、大きなスクリーンに動画を映しました。パソコン上で見るよりも感じるものが多かったのか、涙する保護者や先生もいました。

「他校の子どもたちを見て、全国のシュタイナー学校に大切な子どもがいる、という気持ちになった」

「他国のシュタイナー学校に行っていたことがあるが、国境を越えて同じところにいるように思える。流れているものが共通している」

「最後に全国のシュタイナー学校の名前が出たところがぐっと来た。ここまで増えたんだなと。その他にも今、小さな学校も育っているので、200 周年 (!) の時にはクレジットにいっぱい名前が出てくるといい」

など、動画を見て熱い感想も聞かれました。

動画を見た後は、担当しているメンバーから、8 月 16～18 日に渋谷で開催する教育展「シュタイナー教育 100 周年 in SHIBUYA」の説明がありました。多くの方に足を運んでいただき、動画で受け取ったものを、実際に見て、触れて、感じてほしいと思っています。

「未来へ To the future」が 100 周年記念動画のタイトルです。来し方を振り返るだけの 100 周年でなく、次の 100 年に向けての節目の年。これから育つ子どもたちと彼らが生きる社会を見据え、私たちは何をすればいいのか。一人ひとりの歩みは小さいかもしれないけれど、その一步一步が次につながると、想いを新たにしました。

(5・8 年生保護者 中島美穂)

=====

シュタイナー教育 100 周年記念動画
「未来へ To the future」

「シュタイナー教育 100 周年 in SHIBUYA」

日程 2019 年 8 月 16 日～18 日

会場 渋谷区文化総合センター大和田

詳細と最新情報は学園 web サイトでご確認ください。



インフォメーション

～詳細やお申込方法については学園サイトをご覧ください～

2020 年度入学説明会

【A】「シュタイナー教育とは」「教育内容について」

【B】「保護者の学園への関わりについて」

※A→Bの順で両方の回に必ずご出席ください。

6/22 (土) 入学説明会 A

6/29 (土) 入学説明会 B

9/14 (土) 入学説明会 A

9/21 (土) 入学説明会 B

9/22 (日) 入学説明会 A

9/29 (日) 入学説明会 B

詳細は学園 WEB サイトをご覧ください。

連続講座

シュタイナー学校を知りたい！②

大人のための体験講座 I

低学年編 A 「九九 (かず)」

B 「音楽」

日時：2019年7月7日(日) 10:00～12:00

会場：霧が丘校舎

シュタイナー教育を知りたい！③

大人のための体験講座 II

高学年編 「幾何学」

日時：2019年7月7日(日) 13:30～15:30

会場：十日市場校舎

参加費：1回/1,500円 (NPO 会員 1,300円)

定員：各20組

お申し込みは学園事務局までお願いいたします。

連続講座 多面的シュタイナー考察 ⑨

宗教Ⅲ カルマ論 シュタイナーの輪廻転生観

講師：輿石祥三 (キリスト者共同体 司祭・牧師)

日にち：7月15日(月祝)

時間：10:00～12:00

会場：十日市場校舎

参加費：一般2,000円 (NPO 会員1,500円)

お子様連れの参加はご遠慮いただいております。

お申し込み、お問い合わせは、学園事務局までお願いいたします。

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替： 00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(セトキウ店) 当座013702

1 学期月例祭

横浜シュタイナー学園では、学内において一学期ごとに各学年の日ごろの学びを披露する会を行っており、皆で子どもたちの成長を喜び、見守ってまいりました。

日ごろの積み重ねてきた学びを披露しあうこの集いを、この度、希望の方に公開いたします。

日にち：7月20日(土)

時間：11:00～12:20

会場：緑公会堂

お申込み、お問い合わせは、学園事務局までお願いします。

月例祭修了後、13:00より、100周年記念アクションとして、日本各地のシュタイナー学校で演奏活動する「クラヴェール弦楽四重奏団による演奏会」が同会場で開かれます。どうぞ、ご観覧ください。

シリーズ建築講座

「未来を作る建築と心」

日時：第1回 7月2日(火)

第2回 11月12日(火)

時間：10:00 - 12:00

会場：霧が丘校舎(おひさまの部屋)

参加費：一般2000円 / NPO 会員1500円

お申し込みは学園事務局までお願いいたします。

ご寄付ありがとうございます。
大切に活用させていただきます。
(順不同・敬称略)

村山雄一、保育グループ、卒業生お楽しみ会有志、星の金貨

心より感謝申し上げます。

☆ 星の金貨より ☆

スクールショップ星の金貨は公開講座や各種催しの際はもちろん、平日の学園の開いている時でしたら、どなたでもご利用いただけます。お気軽にお立ち寄りください。事務室にお声掛けください。



横浜シュタイナー学園

～Newsletter 第122号～

2019年6月25日発行

編集：広報の会

発行：NPO 法人 横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※ 掲載内容の無断転載をお断りします